

KPI進捗管理票(令和8年1月末時点) ★は総合計画掲載のKPI

目指すべき姿	KPIの名称	単位	上段:目標値 下段:実績値 (R7年度1月末時点)				R7年度 中間実績値の分析、課題、今後の方針 (1月末時点)	目標値の 考え方	担当部署
			R7	R8	R9	R10			
誰もが松江の伝統文化芸術を誇りに思い、心豊かに過ごせるまち	「松江の伝統文化芸術を誇りに思い、心豊かになれるまち」だと考える市民の割合	%	65.2	68.1	71.0	73.9	目標値は達成しなかったものの、どの世代においても昨年度より肯定的な回答が増加した。今後も分かりやすい情報発信や、幅広い世代が伝統文化芸術に触れる機会を確保することで、松江の文化力の魅力を実感することで心の豊かさへと繋げていく。	毎年+2%	文化スポーツ部
			62.0						

KPI進捗管理票(令和8年1月末時点) ★は総合計画掲載のKPI

4つの課題	KPIの名称	単位	上段:目標値 下段:実績値 (R7年度1月末時点)				R7年度 中間実績値の分析、課題、今後の方針 (1月末時点)	目標値の 考え方	担当部署
			R7	R8	R9	R10			
効果的な 情報発信	松江市ホームページ文化関係ページのアクセス数【4月～3月】	件	140,000 142,618	142,000	144,000	146,000	前年の同時期と比較して、閲覧数が飛躍的に増えており、すでに目標値を超えている。	毎年+2,000件	文化スポーツ部
	松江歴史館収蔵品データベースのアクセス数【4月～3月】	件	4,400 2,043	4,500	4,600	4,700	1月末までの実績値が、目標値の2分の1を下回っている。松江歴史館収蔵品データベースについて広く周知するための情報発信が必要である。	毎年+100件	文化スポーツ部
	★市から発信された情報がわかりやすいと感じる市民の割合	%	55 53.3	56.3	55.0	60.0	文字だけではなく、イラストやグラフ、表などの視覚的にわかりやすい手法を利用しながら、誰でもわかりやすい情報発信を行う。また、アクセシビリティのチェックを注意深く行うことにより、障がいのある方などもわかりやすいHPの作成に努める。	R10年度の目標値60.0%に向け、段階的に設定	政策部
鑑賞・体験・ 学習の機会 の確保	年1回以上、市内で開催される演劇やコンサート等を鑑賞したことがある市民の割合	%	45 44.6	47	49	51	演劇やコンサート等の鑑賞が身近に感じられるよう、各公演やイベントについてSNS等を中心に効果的な情報発信を行い、きめ細かな情報提供が継続されることにより鑑賞習慣の醸成を図る。	毎年+2%	文化スポーツ部
	★歴史・文化資源のまち歩き参加者数【4月～3月】	人	120 137	120	120	120	R7年度は歴史のまち歩きを7回開催し、応募者総数は379人、参加者総数は137人であった。各回において、定員を上回る応募（需要）があるが、市主体で実施するまち歩きでは、受け入れ体制に限界があるため、公民館等の各地域主体のまち歩きの実施について、協力を求めていく必要がある。	20人×6回	文化スポーツ部
	★松江歴史館観覧者数【4月～3月】	人	54,000 50,275	55,500	57,000	58,500	4月から1月までの観覧者数の合計は50,275人で、昨年度の41,022人と比較して約12.3%増加している。特に12月以降に伸びており、連続テレビ小説「ばけげん」の放映による観光客の増加や冬企画展を例年よりも早く開催したこと等が要因と考えられる。入館者数も昨年度と比較して増加しているが、入館者数と観覧者数が大きく乖離しているため、入館者を観覧につなげる広報等が必要である。	毎年+1,500人	文化スポーツ部
後継者・ 担い手育成	地域行事（お祭りや伝統文化など）に参加したことがある（中学生、高校生、大学生等）の割合	%	66 55.5	68	70	72	市への愛着を感じている度合いが高いほど、地域行事へ参加する割合が高いため、各地域の楽しいイベントや伝統文化に関連する情報など、松江の魅力を感じる情報発信を行っていき、郷土愛の醸成を図る。	毎年+2%	文化スポーツ部
	松江文化協会加盟団体の構成員総数	人	5,800 5,660	5,800	5,800	5,800	構成員総数は減少傾向にある。引き続き、加盟団体の発表や展示等の開催を支援し、文化活動の活性化を図るとともに、幅広い世代への文化協会加入促進を働きかける必要がある。	5,800人を維持	文化スポーツ部
資金確保	ふるさと納税受入額【4月～3月】	千円	600,000 613,557	700,000	700,000	700,000	寄附額が前年同期比で約130%と伸びており、返礼品の充実や返礼品画像の魅力向上の取り組みの成果が出ている。	当該年毎に目標値を設定	産業経済部
	★観光入込客数（観光施設・イベントなどの入込客数／【1月～12月】）	万人	1,020 951	1,040	1,060	1,080	松江城天守国宝指定10周年を記念し、特別版お城EXPoin松江や雲海松江城などのイベントを開催し県内外から多くの観光客で賑わった。また、NHK連続テレビ小説「ばけげん」により、小泉八雲記念館や小泉八雲旧居、周辺施設などで対前年増となった。ドラマ終了後も松江の魅力を発信し、持続的な誘客につなげていく必要がある。	毎年+20万人	観光部

KPI進捗管理票(令和8年1月末時点) ★は総合計画掲載のKPI

七つの柱	KPIの名称	単位	上段:目標値 下段:実績値 (R7年度1月末時点)				R7年度 中間実績値の分析、課題、今後の方針 (1月末時点)	目標値の 考え方	担当部署
			R7	R8	R9	R10			
 古代から近代までの 豊富な文化財	国・県・市指定等文化財の 新指定等件数	件	2	2	2	2	9/18 国指定(史跡)出雲国山代郷遺跡群の追加指定 <今後の予定> 登録有形文化財(建造物)の登録	年2件以上の 指定・追加指定	文化スポーツ部
	★ 松江城天守登閣数 【4月～3月】	人	470,000	480,000	480,000	490,000	国外からのツアー観光客や、県内外からの修学旅行者や家族連れなど、団体での登閣者も多く見られ、少しずつ登閣者数が増えている。	R11年度の目標値 500,000人に向け、 段階的に設定(総合 計画実施計画及び 観光戦略プランと 一致させる)	文化スポーツ部
 地域に根づく 伝統文化	★ (小6) 今住んでいる地域の行事に 参加している 児童生徒の割合	%	71	73	75	77	地域の行事や地域をフィールドにした学習の機会も充実し、参加児童の割合も増えている。このような学習・活動機会を確保していくことが必要である。今後も、地域にある教育資源(ひと・もの・こと)を生かしたふるさと教育に引き続き取り組むとともに、地域課題に対する考えを持たせるような指導に取り組む。	毎年+2%	教育委員会
	★ (中3) 今住んでいる地域の行事に 参加している 児童生徒の割合	%	54	56	58	60	地域行事への参加・参画の機会も増え、参加生徒の割合も増加傾向にある。地域の一員として、行事の運営に携わるような仕掛け(あるいは体制)をさらに構築することが必要である。地域にある教育資源(ひと・もの・こと)を生かしたふるさと教育に引き続き取り組むとともに、公民館等との連携によりボランティア参加を促し、地域課題に対する考えを持たせるような指導に取り組む。	毎年+2%	教育委員会
	松江伝統芸能祭の観覧者数 (2年に1回開催)	人	-	500	-	500	R7年度は開催しないが、R8年度に向け、関係団体からの意見を取りまとめる。現時点の計画としては、松江市伝統芸能保護育成協議会に加盟する佐陀神能の、ユネスコ無形文化遺産登録15周年の事業とセットで開催する方向で検討している。	隔年開催で500人を 維持	文化スポーツ部
 市民生活に根づく 茶の湯文化	4月24日は茶の湯の日だと知っている 人の割合	%	37	39	41	43	R7年は春4/26・27、秋11/2・3にイオン松江SCにて「茶の湯イベント」を開催した。全体の参加者数は春700名、秋800名を超えた。11月2日は松江市の新ゆるキャラ「おまっちゃん」が登場し、集客増の要因となった。アンケート「茶の湯の日4/24」の認知度の問いに対する回答は、3～4割が知っていると回答し、これまで並みではあったものの、参加者数の増加を踏まえると拡大していると捉えることができる。	毎年+2%	文化スポーツ部
	明々庵及び赤山茶道会館の入館・ 利用者数【4月～3月】	人	15,900	16,060	16,220	16,390	12月末時点の入館者数・利用者数は前年比125.4%と増加している。インバウンドの増加や朝ドラの放送開始が影響していると思われる。	明々庵の入館者毎年 +1.02% 赤山茶道会館は入 館者維持	文化スポーツ部
 小泉八雲が五感で感じた 松江の生活文化	★ 多文化理解を促進する事業への 参加者数 【4月～3月】	人	2,400	2,600	2,800	3,000	出前講座の他、市主催の多文化理解講座などを実施しており、概ね順調に進んでいる。	毎年+200人	観光部
	小泉八雲記念館の入館者数 【4月～3月】	人	100,000	102,000	100,000	100,000	1月末時点の入館者数は前年比171.4%と好調に推移している。NHKの連続テレビ小説「ばけばけ」の放送決定以降入館者が増加し、9月末の放送開始後はさらに増加し、現時点で目標値を大きく上回る。	100,000人を維持	文化スポーツ部

KPI進捗管理票(令和8年1月末時点) ★は総合計画掲載のKPI

七つの柱	KPIの名称	単位	上段:目標値 下段:実績値 (R7年度1月末時点)				R7年度 中間実績値の分析、課題、今後の方針 (1月末時点)	目標値の 考え方	担当部署
			R7	R8	R9	R10			
 市民とともに育む 文化芸術活動	松江市民美術展来場者数	人	1,400 0	1,450	1,500	1,550	開催予定日の直前に会場の島根県立美術館の空調設備の故障により開催を中止としたため、来場者は0となった。公募作品の出品数は、前年度比114%であり、取組の成果が出ているものと分析している。 3月には、中止とした松江市民美術展の代替として「松江市民美術展優秀作品展」を開催する。	毎年+50人	文化スポーツ部
	松江市民文化協会加盟団体の団体数	団体	95 97	95	95	95	目標団体数は維持しているものの、若い世代で構成される加盟団体は少ない。文化協会について、若者へ繋がりがやすいSNS等による周知を図る必要がある。	95団体を維持	文化スポーツ部
	しいの実シアターの利用者数 【4月～3月】	人	5,300 2,369	3,000	3,000	5,300	今年度は森の演劇祭開催年であり、例年と比較して利用者増となっている。森の演劇祭で来場いただいた方に今後の公演事業でも来場していただけるよう引き続き施設PRに取り組んでいきたい。	森の演劇祭開催年は5,300人、それ以外の年は3,000人	文化スポーツ部
 伝統文化芸術の 拠点となる施設	★ プラバホール施設利用者数 【4月～3月】	人	104,000 64,364	108,000	112,000	116,000	昨年度の同時期より利用者数が減少している。引き続きプラバホールを身近な施設として愛着を感じられるよう、魅力の発信に努め、利用者増加につなげる。	R11年度の目標値120,000人に向け、段階的に設定	教育委員会
	出雲かんべの里利用者数 【4月～3月】	人	120,000 91,299	120,000	120,000	120,000	昨年度の同時期より利用者数が減少している。引き続き利用者増加に努める。 ・特定非営利活動法人八雲総合サービス協会指定管理 ・利用者数91,299人（民話館6,274人、工芸館79,898人、かんべ茶屋5,127人）	毎年120,000人	教育委員会
 宍道湖・堀川・中海等の 松江的景観	★ 水辺の公共空間活用日数 【4月～3月】	日	370 —	395	395	406	実績値は年度末に集計するため達成状況は不明だが、民間事業者による利活用が進んでいる状況である。 岸公園・白濁公園の河川空間のオープン化によって利活用の自由度が向上することから更なる活用日数が見込まれる。 水辺の公共空間の活用について、各所で賑わいが生まれているが、日常的な賑わいにはまだ繋がっていない。今後、河川空間をオープンな区域を広げ、民間事業者の活用が進み、水辺の公共空間が日常的に賑わうよう利用促進に取り組む必要がある。	湖畔公園整備事業やソフト事業による活用日数の増加	都市整備部
	宍道湖を身近に感じる人の割合	%	92 93	92.5	93	93.5	宍道湖北岸の親水護岸と千鳥南公園の整備を進めている。R7.3には松江市役所前エリアに「水辺ステージ」が完成し、イベント開催などに活用されている。引き続き水辺の利活用を推進することで、宍道湖をより魅力的な場所として、市民や観光客にPRしていく。	毎年+0.5%	政策部